

## 45の気づきのヒント集

あっ！そうか あっ！なんだろう 「あ」からはじまるかんきょうかるた

いっしょだね いっしょだよ みんな いっしょだよ

うれしいねうれしいよ だから ありがとう

えっ！ なに？ なんだろう？

おいしいね！ おいしいよ おくちのなかも こころのなかも

かっこいい かぶとにくわがた むしきんぐ

きのうより きっとおおきい きょうのぼく

くもりのおそら おひさま おひるね

けしわすれ ひとりでおしゃべり てれびさん

こんやはすいか ぼななはいつなの おつきさま

さむいなら おしくらまんじゅう げんきなこ

しゃぼんだま ふわふわとぶよ かぜのみち

すすき だんご まんまるにっこり おつきさま

せかいじゅう みんななかよし ちきゅうのこ

そうなのか そうなんだよね そうしよう

たけのころけっと ちきゅうきちから はっしん！！

ちいさなようぶく あげちゃおー おおきなようぶく もらっちゃおー

つぼみひらいた だれがあけたの おはながさいた

てんとうむし どーむがわれて おそらへとんだ

とおくまで はこんでいくよ とりはたねの たっきゅうびん

- ・「むしきんぐ（ムシキング）」は株式会社セガの商標で使用許諾を得ています。
- ・「たっきゅうびん（宅急便）」はヤマト運輸株式会社の商標で使用許諾を得ています。

なきだした せみさんどこかな もうなつだ
にんじんだいこん ごぼうにれんこん みんなつちとなかよしさん
めきあし さしあし のびあし やった! どうとう つかまえた
ねんねんよ はっばのおふとん いもむしくん
のこさずに ぽっくんぽっくん げんきなこ
はんかちほ なんでもできる べんりだね
ピーピーピー そこのぼった とまりなさい!
「ふくおかたわーがみえるぞお」 と わたりどりがとんでくる
へえ へえ へえ しゃくとりむしって おもしろい
ほたるのおしり ぴかぴからいとで ともだちよぶよ
まいぼく もっておつかい いってきます
み~つけた かれはのなかの どんぐりさん
むしめがね のぞいてみたら ありさんかいじゅう こんにちは
めだかいるかな かわのなか
もみじと ほっぺ おぞらもまっか
やねのした つばめのきょうだい うたがっせん
ゆっくりあるこう みてみよう だいほっけんのさんぽみち
よおくみて はっばのうらに いしのした
らっかさん あれは たんぽぽの こどもたち
りさいくる くるっとまわって だいへんしん
るーるをまもって きちんと ぶんべつ
れいぞうこ どんどんひやすぞ でんきをたべて
ろうそくのあかり ちいさなひかり だいじなあかり
わっはっはっ からだいっぱい わらってみよう
ん~すごい このかるたは たのしいな

かるたまでの道のり

## かるたの解説 & アクティビティのヒント（あ行）

### あっ! そうか あっ! なんだろう 「あ」からはじまるかんきょうかるた



子どもの心の動きの最初の言葉、あっ! という思いが、行動に表れ、次の体験へと移っていきます。

まず、この「あっ!」という気づきを大事にしたいと思います。

### いっしょだね いっしょだよ みんな いっしょだよ



子どもの周りを見ると、おとこの子もおんなの子も、みんないっしょ。人も動物も植物も、みんないっしょ。みんな友だちだよ、ということ伝えたいですね。みんな一緒にこの地球に暮らしている仲間です。いっしょだということの意味をいろいろな角度から伝えてみてください。地域を見てみると、どこに住んでいる子ども、どんな家に住んでいる子ども、もっと広く、どこの国の人も、みんな地球に住んでいて、いっしょだね。

### うれしいねうれしいよ だから ありがとう



みんながうれしいときってなんだろう? 自分がうれしいとき、人がうれしいとき、誰だってうれしいときって、どんなときだろう? その反対で、悲しいときってどんなときだろう。いつも、いろんな立場にたって考えてみると人の気持ちもわかる。そして、うれしいときには、いろんなことがら関係しているとか、いろんな人が関係しているとかの事例を挙げて、感謝の気持ちを持つことも大切。その気持ちの表れが「ありがとう」です。いろんな人にいろんな「ありがとう」を考えてみましょう。

## えっ！ なに？ なんだろう？



「あっ！」という発見と、「えっ！」という驚き、どちらも興味が芽生えた瞬間の心の言葉。「あっ！」と「えっ！」の微妙な違いを取り上げてもおもしろいものです。

## おいしいね！ おいしいよ おくちのなかも こころのなかも



食べ物への感謝の気持ちは、それを作ってくれたお父さん、お母さんなど、身近な人から、食材を作ってくれた農家の人たちまで、さらに畑や太陽、さまざまな環境にも、いろんなところに感謝です。おいしい気持ちは、くちのなかはもちろん、心のなかまでいっぱいです。食育といった観点からも、この一枚のかるたでいろんな展開が楽しめると思います。



## かるたの解説 & アクティビティのヒント（か行）

### か っこいい かぶとにくわがた むしきんぐ



カブトムシやクワガタムシは、昆虫の中で最も人気があるものの一つだ。どこに住んでいるのか、子どもたちと考えてみたい。ちょっと前（といっても20年以上前になるだろうか）だと、小さな子どもでも、みんな知っていたような気がする。今は知らなくても無理はない。ドングリの木立が近所には無くなってしまったから。少々遠くてもクワガタムシがいる森を訪ねてみたい。簡単には森を開墾できないことを感じるだろう。

### き のうより きっとおおきい きょうのぼく



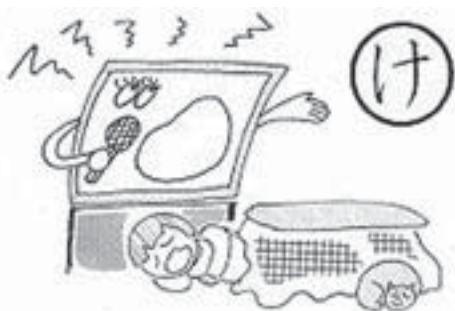
子どもの成長は早く、毎日少しずつ伸びていて、目には見えないが、昨日と比べてもわずかに大きくなっている。そして身体だけではなく、心も大きくなっていることを本人に伝えたい。昨日と違って、順番を待てるようになったり、お片づけができたり、環境に目を向けると、蛇口の水を止めたりごみを分けたり・・・昨日と違うところが見つかり「大きくなったねえ」と声をかけてあげたい。

### く もりのおそら おひさま おひるね



曇りや雨降りだとお日様が見えない。晴れの日でも大きな雲が通ると顔を出したり、隠れたりする。お空を眺めながら、見えないときはどこに行ったのかを考えてみる。身の回りの自然現象に関心を持つことが大事なので、子どもの答えが「お昼寝」でも「かくれんぼ」でも、きっと正解じゃないかな。

## け しわすれ ひとりでおしゃべり てれびさん



誰もいない部屋で、話し声だけ聞こえるのって不気味だけど、それを不自然に感じないのはもっと怖いことのように思う。誰もいないのに仕事をしないといけないテレビさんってかわいそうだとも思う。どうすればいいのかは小さな子でも、自ずと分かるのではないかな。

## こ んやはすいか ばななはいつなの おつきさま



スイカは半月、バナナは三日月。月の満ち欠けを食べ物に見立てて、日々起こる天体の変化に関心を持っていく。空は昼間だけでなく夜にも存在する。夜の月や星や雲を見あげ関心を広げる。

街なかにすんでいる人は山間部のように灯りがほとんどないところで夜空を見る機会を作りたい。自分の家で見える星の100倍の星が見えるはず。



## かるたの解説 & アクティビティのヒント（さ行）

### さ むいなら おしくらまんじゅう げんきなこ



寒いとき身体を温める方法をみんなで考えてみる。暖房器具を使うだけでなく、服を1枚多く羽織ったり、身体を動かしたりすると、エネルギーを使わずに暖まることができる。実際に“おしくらまんじゅう”をやってみよう！身体が温まるのを実感しよう！もちろんエアコンやこたつなどは生活に必要で、否定しているわけではないが、短絡的に「寒い→暖房」とはならないようにしたいもの。

### し ゃぼんだま ふわふわとぶよ かぜのみち



風ってなんだろう？目に見えないけど私たちの周りに存在する。見えない風をシャボン玉で見ることができる。夏の暑い日、風さえ通ればエアコンがなくても結構過ごせる。建物内の向かい合う窓を開けて風の道をつくり、風が通っていくのをシャボン玉をとばして見てみたい。風君と友だちになればエアコンを使う日も減るんじゃないかな。

### す すき だんご まんまるにっこり おつきさま



すすき！だんご！おつきさま！と言えば日本の秋の風物詩 だった？ もう一度、季節の移り変わりを感じてみよう。すすきが穂を揺らす頃、暑くなく、寒くもなく、空気は澄み、月がなんてきれいなんだろう。かるたでは団子を詠んでいるが、この季節の食べ物と言ったら何があるかな？と、みんなで考えてみよう。おいしいモノがたくさんあるよね。

## せ かいじゅう みんななかよし ちきゅうのこ



世界中の64億人の人たち。同じ星に住む運命共同体だ。どんな国があつてどんな民族が暮らしているのか絵本などで見てみるのもいいかも。みんな仲良くするのがあたりまえでしょ！あゆみちゃんもひろしくんも友だち。キムさんもロナウドさんも友だち。さて、友だちは人だけかな？

## そ うなのか そうなんだよね そうしよう



このかるたは環境教育を一言で表している。聞いたり、体験したりするなかで「そうなのか」と気づくことがある。それを調べたり学習するうちに「そうなんだよね」と納得する。このエコッパかるたにも「そうなのか」「そうなんだよね」をちりばめている。そして最後に「そうしよう」と行動を起こすためのちょっとした決意と勇気があれば十分なんだ。





## かるたの解説 & アクティビティのヒント（た行）

### た けのころけっと ちきゅうきちから はっしん！！



タケノコって、その名のとおり竹の子どもだってことを知らない子も多いかも。しかも地面に埋まっているなんて。実際に見るのが一番。地面から頭を出したさまはまさに地球基地からの発進だ。親竹を切って竹細工もおもしろいよ。まずは、竹林へタケノコ掘りに出かけてみよう。

### ち いさなようぶく あげちゃおー おおきなようぶく もらっちゃおー



いらなくなったら捨てるしかないのか、よい方法を考えてみよう。服がいらなくなったのなら、すぐに思いつくのがフリマ。リユースのシステムとして社会に定着している。「子どもフリマ」というのをやってみては？年長さんから年中、年少さんへ不用品を譲る。制服がある幼稚園や保育園では既に制度化しているところもあるかもしれない。これって「ケチ」ではなくて、先達の知恵でもあり、21世紀の文化にしなくちゃね。

### つ ぼみひらいた だれがあけたの おはながさいた



小さな種から、芽が出て、茎が伸びて、つぼみがついて、気がつくと花が開いてる。小さな固い粒がいつの間にか花を咲かすのだから不思議だよ。実際に種を植えて、花が咲くまでの神秘的な演出をじっくりと観察してみたいもの。つぼみを開くのは、ありさん？はちさん？それともつぼみさんが自力で一生懸命あけてるの？ひょっとして、妖精のしわざかな？「そんなの、生物学的に言うと・・・」なんて言うのはだめですよ！

## て んとうむし どーむがわれて おそらへとんだ



テントウムシの羽はセミやトンボと比べて堅いよね。あんな堅い羽で飛べるものだろうか。みんなで考えてみよう。考えたら、そう、実際に見てみる。飛びたつところをよおく見ると、一瞬で飛ぶのでなく、外側の堅い羽（ドーム）を開いて、ちょっと間をおいて、内側の羽を羽ばたかせて飛びたつ。ほかのムシはどうなんだろう。さあ、観察！観察！

## と おくまで はこんでいくよ とりはたねの たっきゅうびん



植物には手足がない。だけど種（しゅ）を残すために、あの手この手で生息地を広げていく。いったいどうやって？ 作戦の一つが鳥。実を鳥に食べさせて、鳥はそのうちどこかでフンと一緒に種（たね）を落とし作戦完了。鳥に実を食べてもらうのがみそだ。鳥は植物にとっては宅急便だ。種を遠くまで運んでくれる。いつ、どこにフンをするのか分からない、数打ちゃあたる方式の荒っぽい作戦だけど何せ手足が無いのでぜいたくは言ってもらえない。



かるたの解説 & アクティビティのヒント (な行)

**な** きだした せみさんどこかな もうなつだ



福岡の都心、天神の夏は自動車や雑踏でなく、セミの喧噪の中にある。天神でなくとも以前に比べてセミの数が増えたと感じている人も多いのではないだろうか。ほかに住む場所が減ってきたから都心の街路樹が貴重なすみかになっているとの説もある。年々森が減少し、森に暮らしている生物にとっては受難の時代だが、セミはあきらめず、たくましく生きている。夏、街を歩くときは街路樹の生き物たちにも注目してみよう。

**に** んにんだいこん ごぼうにれんこん みんなつちとなかよしさん



スイカが路地になっているのを見たことがないため、木の上になっていると思っている子もいるという。イモ掘りは、植物は土で育つことを実感するのによい教材だ。大地がたくさんの野菜やくだものを育てている。にんにんでも大根でもいい。育てているところを見て触って感じてみよう。きっと、土ってすごい、大切なものなんだと思わずにはいられないね。

**ぬ** きあし さしあし のびあし やった! どうとう つかまえた



庭で、畑で、神社の境内でバッタやチョウチヨやセミやトンボを捕まえて・・・最近ではそんな機会がなくなって、身の回りにたくさんの生き物がいることをつい忘れてしまっていないだろうか。抜き足差し足で忍び寄っても、気配で逃げられ、その俊敏さに驚かされたり、ドタバタ音を立てても全く逃げなかつたりと、いろんな習性を発見する。私たちはたくさんの生き物と一緒に生きていることに気づきたい。捕まえた後はもちろん逃がしてあげてね。

## ね んねんよ はっぱのおふとん いもむしくん



イモムシって、どんなムシ？ はっきりとした定義はないみたいだけど、一般的に「蝶や蛾の幼虫で毛がないもの」の総称として使われているようだ。さて、そのイモムシだが、ミノムシのようにいつも寝床にくるまっていたり、青虫のように葉っぱのうらで一心に葉を食しているものもいたりする。以前はキャベツ畑にモンシロチョウが定番だったが、近頃は見なくなった。アオムシが食べて穴の開いたキャベツと飛び交うモンシロチョウを探しにいこう。

## の こさずに ぱっくんぱっくん げんきなこ



“残さずにパッくんパッくん”の効用は①栄養がとれて元気になること②そうやって食べてもらうと作った人もうれしいこと。だけでなく③よく噛むことは健康のもと④偏らずに食べて栄養のバランスOK。さらに⑤残さず食べると生ごみにならない、⑥大根の葉っぱだって捨てずに食べて食材を無駄にしない、⑦近所で作った野菜を食べると輸送が少なく省エネにもなる。など、食べ物は環境教育のテーマがいっぱいだ。



## かるたの解説 & アクティビティのヒント (は行)

### は Hancock は なんでもできる ベンリだね



ちゃらら ららら〜ん とマジックの定番ハンカチ。日常生活でもあら不思議。なんと洗った手を拭くことができるし、お弁当箱を包むことだってできる。次は大型ハンカチの登場（これって風呂敷）。これだと、服、絵本、お道具箱・・・相当大きなものでも包んでしまえる。手洗いにペーパータオルやエアータオルを使うと紙ごみやエネルギーの浪費のもとだ。ハンカチや風呂敷は包装材として何度でも使えるし、紙バッグもいらぬ。

### ぴーピーピー そこのぼった とまりなさい！！



バッタを捕まえようと、飛びつくと一瞬早く跳んで、捕まえられない。次は警戒されて、一歩近づくと先へ跳び、また一歩近づくとまた先へ跳ぶ。つい、交通巡視員のごとくピーッと停止の合図を出したくなる。バッタだって必死。身体は小さくても簡単にヒトに捕まるような鈍い生き物じゃないぞ。バッタとの追いかっこは運動神経と知恵の競争だ。もし、捕まえたら、優越感に浸ってもいいけど、その後は、ちゃんと・・・分かってるね。

### 「ふくおかたわーがみえるぞお」 と わたりどりがとんでくる



博多湾の和白や今津の干潟、河口などにはサギ、シギ、カモなどたくさんの渡り鳥がやってくる。福岡タワーを目印にやってきているのかなあ？絶滅危惧種のクロツラヘラサギも干潟では目の前で見ることができる。秋にはホークス（鷹）の本拠地の上空を本物の鷹（ハチクマ）が毎年渡っていく。近代的で無機質な建造物の上を悠然と飛ぶ鳥に目をやり、どこからくるのか、どこへいくのか・・・と思いを広げたい。山や海を汚せなくなるよね。

## へ え へえ へえ シャクトリむしって おもしろい



ムシの歩き方（進み方、動き方）を見てみよう。6本足の昆虫は？ 足がたくさんあるダンゴムシは？ 足があるのかないのかナメクジは？・・・ムシは通常、足（もしくは足らしきもの）を動かして前進するが、シャクトリムシはというと、身体全体を曲げ伸ばししながら移動する。歩き方一つとっても、興味がつきない。さあ、むしめがねをもってでかけよう。きっと新しい発見があるよ。

## ほ たるのおしり ぴかぴからいとで ともだちよぶよ



5月下旬から6月上旬ころにホタルの舞が見られる。名所と言われるところは清流があり、灯りが無い。エサとなるカワニナが棲むことができる水質とホタル同士が交信するための暗さが必要なんだ。ゲンジボタルの点滅は東日本が4秒間隔、西日本が2秒間隔で東と西のホタルは交信ができないと言われている。生物を人為的に移動させることは生態系を乱す危険をはらんでいることをホタルの光は知らせているのかもしれない。



## かるたの解説 & アクティビティのヒント（ま行）

### ま いぼくぐ もっておつかい いってきます



スーパーに買い物に行くと、当たり前のようにレジ袋をもらっていないかな？ 毎日もらうレジ袋の最後の行き着く先はどこ？ マイバッグが一つあればレジ袋はいらない。たくさん買い物をする人でも2つあれば十分。小さな子どもだと一人でお使いというのは難しいので、大人も一緒のはずだから、その大人が見本を見せないとね。子どもと一緒にマイバッグ！を持ってでかけよう。小学校に入る前から“マイバッグ”くらいは知ってなきゃね。

### み ~つけた かれはのなかの どんぐりさん



クヌギ林の中に敷き詰められた枯れ葉のじゅうたん。木立の中のふかふか道を歩きながら、ふと立ち止まって枯れ葉をかき分けてみると、たくさんのどんぐりがみつかるとは。なかには芽を出しているものも。どんぐりにも個性があって細長かったり、丸かったりする。どんぐりの形からクヌギ、コナラ、カシ、シイなどの種類が分かる。あなたの近所の森はどんなどんぐりなのか“木の先生”を呼んで教えてもらうのもいいかもしれない。

### む しめがね のぞいてみたら ありさんかいじゅう こんにちは



虫眼鏡はまるで、ドラえものの“どこでもドア”。その向こうにはこちら側とは違う世界が広がっている。ちっちゃなありさんの触角は大きな角、口はまるでエイリアンのようだ。子どもたちの手に虫眼鏡を持たせ庭へ出したら、あとは解説はいらない。怪獣の世界の探検が始まる。

かるたまでの道のり

## め だかいるかな かわのなか



メダカは、比較的汚れにも強い魚で、汽水域でも生息できると言われている。が、身の回りで見ることが困難な生き物になってしまった。メダカは流れが速い川には住めず、流れが止まったよどみがある場所を好む。田んぼは減る一方だし、水路も側面、底面がコンクリートで固められ、流れが速くメダカが住めなくなっている。さて、あなたの周りにメダカはいるかな。みつけた！と思ってもそれはカダヤシかヒメダカかもしれない。

## も みじと ほっぺ おそろもまっか



みんなで夕焼けを見てみよう。「夕焼けは赤色」だろうか。深紅、オレンジ、紺、藍とグラデーションを作り、刻々と変化していく。一方もみじ。1年に1度、短い期間だけ色を変え、その年の気候で、染まる時期や色合いが変わる。これも単純な赤ではないことは実際に見ると感じとれる。日周期で変わる赤と年周期で変わる赤から自然の雄大さを感じてほしい。ほっぺが赤いのはなぜ？北風が冷たいから？夕焼けのせい？それとも・・・





## かるたの解説 & アクティビティのヒント（や行）

### や ねのした つばめのきょうだい うたがっせん



ツバメは一番身近な渡り鳥かもしれない。福岡だと3月中旬頃から見られるようになる。軒下に巣を作り、初夏にはヒナがかえって、大きく口を開けて並んでいる。生まれたての赤ん坊が、エサをもらおうとたくましく生きているのが見える。ツバメの世界はオスもメスも卵をあたため、オスもメスもエサを運ぶ。生きていくための営みをじっくりと観察してみよう。

### ゆ っくりあるこう みてみよう だいほっけんのさんぽみち



いつも通る道は知ってるつもりで実は知らないことがたくさんある。コンビニの自動ドアの上で声を張り上げる子ツバメ。雑踏のアスファルトの裂け目からはえ出たタンポポ。さび付いて赤茶けた街灯の支柱に巻き付いた新緑のツタ。目を配ると日頃気づかなかったことがたくさん見つかる。私たちの身のまわりには懸命に生きる生命の息吹が満ちている。わざわざ遠方に出かけなくても、ほらそこに。

### よ おくみて はっぱのうらに いしのした



自分の身のまわりには、たくさんの生き物たちがいるのに、日頃はその存在を意識することなく過ごしている。実際に観察して、私たちは多くの生命とともに生きていることに気づきたい。公園や園庭でもたくさん見つけることができるはず。さあ、生きもの探した。何種類の生き物を見つけてることができるかな。

## 街のなかの身近な散歩道



那珂川下流（中洲中島町）



臨海クリーンパークのビオトープ



百道浜の松林



聖福寺



愛宕神社



那珂川河畔公園付近



水鳥が集まる室見川河口



ビルの谷間の水鏡天満宮



かるたまでの道のり

## かるたの解説 & アクティビティのヒント（ら行）

### ら っかさん あれは たんぽぽの こどもたち



手足を持たない植物が生息地を拡大する作戦のひとつが綿毛だ。種に綿毛をつけ、遠くへ行くのに風を利用する。落下傘を知らない子どもも多いかもしれないが、タンポポの綿毛とパラシュートの写真を比べてみると、何となく形が似ている。なぜこんな形をしているのかを考えてみよう。実際にタンポポの綿毛をもってきて、風に飛ばせるといいなあ。たんぽぽの種が落下傘みたいになっているのはお空を散歩して虹を渡るため？

### り さいくる くるっとまわって だいへんしん



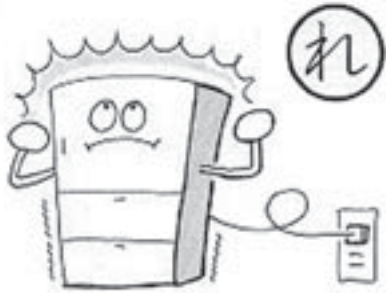
紙をゴミ箱に捨てると、その先は収集車で集めて、焼却場へ運ばれ、焼かれて、灰になって埋め立てられる。山の木を切って作られた紙を灰にせず、再び回収して再生紙やトイレットペーパーなどの紙にしたいもの。紙だけでなくアルミ、スチール、ペットボトルと関心を広げていきたい。ところで、たくさん使って、たくさんリサイクルすることっていいことなのだろうか？

### る ーるをまもって きちんと ぶんべつ



あなたは、どんなものをごみとして出しているのかな？ ごみを減らすにはどうしたらよいだろうか？ みんなで考えてみよう・・・。「混ぜればごみ、分ければ資源」のキャッチフレーズは簡潔でわかりやすい。ごみ減らしは分別から。家庭からごみとして出しているものに何があるのか振り返ってみよう。紙類、古着、アルミなどは分ければ資源になる。生ごみも堆肥にできるから、ごみ出し日に出すものってどれだけ残るのかな？

## れ いぞうこ どんどんひやすぞ でんきをたべて



冷蔵庫は中に入れておくだけでしっかり冷やしてくれる便利なものだけど、家庭の中の電気の大食い競争NO. 1。冷蔵庫のしくみを知って、どうすれば電気を食べないかを考えてみよう。扉を何度も開けるひと、扉を開けてから何を取り出そうか考えているひと、庫内に冷気がまわらないくらい詰め込んでいるひと、ガスコンロの隣に冷蔵庫を置いているひと、・・・ほらほら！心当たりのある人がたくさんいるんじゃないかな。

## ろ うそくのあかり ちいさなひかり だいじなあかり



照明のない真っ暗な部屋にろうそくを灯すと、そのほのかな頼りない光から、照明のありがたさを実感する。居間やキッチンの蛍光灯に玄関やトイレの白熱灯など家庭の中の照明器具はろうそく何本分の明るさだろうか。日頃、当たり前のように照明を点けていることを振り返り、電気の恩恵に感謝し、使いたいただけ使ってもいいものか考えてみる。



## かるたの解説 & アクティビティのヒント (わ、ん)

**わ** っはっはっ からだいっばい わらってみよう



何をやるにも、やる気と元気が必要。頭の先から足の先まで全身を動かそう。そして、腹の底から思いっきり笑っちゃおう。ほら、何でもできる気がしてきたでしょう。同じことをするんだったら暗く静かにこそそそするより、明るく元気に思いっきり取り組もう！

**ん** ~すごい このかるたは たのしいな



福岡の子どもたち、日本の子どもたちみんながこのエコッパかるたの内容を全部実践したら、きっと明日は明るい。さあ、いますぐ、楽しく、はじめよう！エコッパかるた！

